

第九十回帝國議會 衆議院 林業會法案委員會會議錄(速記)第十一回

付託議案
林業會法案(政府提出)

昭和二十一年九月三日(火曜日)午前十一時三十分開議

出席委員

委員長 森 幸太郎君
理事 水口 周平君 理事 綿貫 佐民君
理事 平野 增吉君
理事 稻田 直道君
理事 木島 義夫君
理事 武田信之助君
理事 武田 武君
理事 町田 三郎君
理事 松澤 一君
理事 飯田 義茂君
理事 磯田 正則君

出席國務大臣

農林大臣 和田 博雄君
運輸大臣 平塚常次郎君
國務大臣 崎 桂之助君

出席政府委員

農林參與官 鈴木 強平君
農林技官 中尾 勇君
農林事務官 平川 守君
運輸事務官 滿屋 君亮君

本日ノ會議ニ付シテ議案
林業會法案(政府提出)

○森委員長 是ヨリ會議ヲ開キマ
ス——武蔵常介君

○武蔵常介委員 木材統制法ヲ廢シ
テ、本法案ヲ提出シマシテ理由ハ何レ
ニアルカト云フコトデゴザイマス、木
材統制法ハ戰時中ノ法デアリカラ、之
ヲ切替ヘルト云フ單ナル意思ヨリ出デ

第六類第十八號 林業會法案委員會會議錄 第十一回 昭和二十一年九月三日

タノデアリカラ、政府ハ過去ノ官僚統制
ニ依ル所ノ官僚主義ヲ一掃シシマシ
テ、新憲法ノ精神ニ則ツテ業界ノ民主
化スベキデアラウト思フノデアリマ
ス、此ノ見地ヨリ此ノ法案ヲ檢討スル
時ニ、非常ナル疑問ヲ持ツノデアリマ
ス、ソレハ各所ニ現ハレテ居リマスル
ガ、其ノ一、二ヲ取上ゲテ申シマスナ
ラバ、林業會ノ加入ハ隨意デアルト云
フコトデアリマス、然ルニ加入ノ如何
ニ拘ラズ、統制ニハ服從シナケレバナ
ラスト云フコトデアリマス、此ノ加入
ノ隨意ト云フコトハ一面洵ニ民主化サ
レテ居ルヤウニ見エマスガ、加入シ
イ者ニモ統制スルト云フコトデアリ、
加入シナイ者ハ、隨テ發言權ガナク、
唯服從ノミヲ強制セラレルト云フコト
デアリマス、是ハ決シテ私ハ民主的
デアルト云フコトハ出來ナイト考ヘ
デアリマス、是等ノ點カラ考ヘル時
ニ、本法案ハ偽裝の民主主義化デナ
イカト考ヘルノデアリマス、之ニ對シ
マシテ農林大臣ノ所見ヲ伺ヒタイノ
デアリマス

更ニ又伺ヒタイノハ、經濟安定本部
ノ總務長官ト致サレマシテ、一般の
民主的統制方式ト云フモノハドシナ
方式ト今後御考ヘニナツテ居ラレ
スウ云フコトデゴザイマス、木材ニ關
スル方面ノ經濟安定ニ關シマシテハ、
一體ドウ云フ風ナ方式ヲ御執リニナ
レカ、一體木材ハ他ノ一般ノ經濟ト必
ズシモ一致シナイコトガ多クデアリ
マス、是ハ過去ノ經驗カラ考ヘテ見
マシテ、ウ云フコトニナツテ居リマ

ス、他ノ一般經濟ハ益々向上スル時
デモ、運輸其ノ他ノ關係上カラ引合ハ
ナイト云フコトニナリマスルト、此ノ生
產ト云フモノガ、ソコデビツタリ絶
ルト云フコトガ往々ニアルノデアリ
マス、斯ウ云フコトニナリマスルカラ
シテ、今度ノ復興事業ヲ目指シテ斯
ク問題ガ起リマスルト、是ハ實ニ重
大ナ問題デアルト考ヘルノデアリ
マス、所ガ先日ノ長官ノ御説明ニ依
リマスルト、一年間經テナケレバシ
ツカリシタ設計圖ガ出來ナイト云
フ御話デゴザイマシタ、然ラバ木材ノ生
產モ、一年間ハ根本的ナ計畫ヲ立
テテ、仕事ヲスルト云フコトハ出來
ナイヤウナ結果ニナルノデアリマス、
木材ニ關スル限リハ一日モ早く明
確ナル所ノ方針ヲ定メラレマシテ、
之ヲ指示シテ戴キマセヌケレバ、
木材ノ生產ハ一時非常ナ停頓ニ陥
ルノデハナイカ、私ハ斯ウ云フ風ニ
考ヘマス、段々伺ヒマスルト、世間
一般ニ、閣下ハ自由主義經濟ノ理
念ヲ御持チニナツテ居ラレ、斯
ウ云フコトヲ言ハレテ居リマスル
ガ、現在ノ日本ノ經濟、特ニ特殊
性ヲ持ツテ居リマスル所ノ木材ノ
生產配給ニ關シマシテ、如何
ノ方式ヲ御執リニナラレカ、之
ヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス、
先ヅ第一ニ此ノ問題ニ付キマシ
テ總務長官ニ御答辯ヲ戴キタイ
ト存ジマス

○和田國務大臣 最初ノ御質問ニ
對シマシテ私カラ御答ヘ致シマス、
木材統制法ヲ廢メマシテ、日本社、
地木社ヲ廢止シテ、此ノ林業會
法案ヲ提出致シマシテ理由ニ付
キマシテハ、是ハ本會
議及ビ當委員會ニ於テ屢々繰返
シテ御説明申上ゲタノデアリ
マスガ、結局戰時中行ハレマシ
タ日本、地木ニ依リマスル統制
ト云フ戰時統制ヲ廢止シマシ
テ、林業ニ關係スルアリマス
ル自治的ナ團體、言換ヘレバ森
林組合、ソレカラ今度此ノ法律
ニ依ツテ林業業者ヲ以テ作
リマス林產組合等ヲ以テ日本
林業會ヲ作リマシテ、サウシ
テ、此ノ自治的ニ作ツタ團體
ニ於テ、森林ノ維持造成及ビ
木材ノ配給等ノ確カ期シテ行
ク云フノガ、此ノ法案ヲ作
ツタ主ナル理由デアリマス、
勿論自治的ニ作ラレマス
ル團體デアリマスルノデ、
ハ「コーオペラテイヴ」ノ
原理ニ從ヒマシテ、加入
ノ加入ハ自由デアリマス
ル團體ガ、此ノ加入ノ自由
デアリマスル團體ガ、統制
致サウトシテ居リマスル
仕事其ノモノハ、是ハ日本
ノ經濟及ビ日本全體ノ福利
ノ爲ニ、非常ニ必要ナ公共
的ナシテハ勿論自治的
ニヤツテ行キマスル統制
其ノモノニ付テハ、組合
員ニシテ統制ハ及バナイ
ノデアリマセウガ、併
シ臨時物資配給調整法
ト云フモノガ出來マス
ルナラバ、其ノ限リニ於
テハ、是ハ大キナ見地
カラ、組合員外ノ者
ニモヤハリ統制ハ及
ブト云フコトハアリ
得ルト思フノデアリ
マス、是ハ丁度元自由
經濟ノ時代ニ、重要
産業統制法ト云フ
モノガアリマシテ、
ソレデ重要産業ニ
對スル一ツノ統制
ヲ行ヒマシタ時
ニ、ヤツバ員外統
制ト云フコトハ其
ノ場合ト雖モ行ハ
レテ來タノデア
リマシテ、是ハ統
制ヲヤツテ行キ
マスル主體ハ、或
程何處マデモ自
治的ニ組織サ
レタ團體ト云
フモノニ依ツ
テヤツテ行
クトシマシ
テモ、統制
其ノモノノ
ヤリマスル
仕事ガ、非
常ニサウ云
ツタ重要
ナ仕事デア
リマスルナ
ラバ、公
ノ仕事トシ
テ統制目的
ヲ達シマス
ル爲ニ、「ア
ウトサイダ
ー」モヤハ
リ或ル程度
統制ニ際
イテ行ク
ト云フコト
ハ、當然
考ヘラレ
ルコトナン
デアリマシ
テ、唯之ヲ
以テ偽裝
の法案ダ
トハ言ヘ
ナイノデ
ハナイカ
ト斯様ニ
思フノデ
アリマシ
テ、我々
トシマシ
テハ、何
處マデモ
實際上
森林組合
デアリマ
ストカ
ノ當事者
ガ、自ラ
進ンデ加
入シテ戴
キマシ
テ、サウ
シテ何處
マデモサ
ウ云フ
ヤウニ木
材ノ生
產配給ノ
統制、適
正化ト云
フ大キ
ナ仕事
ヲ、十分
自覺サ
レタ人
達ニ依
ツテ、自
主的ニ
統制サ
レテ行
クヤウ
ニ致シ
タイト
思フノ
デアリ
マス

ニ相成ルノデアリマス、併シ之ヲ運用シマスル際ニハ、一ハ直接ニハ只今申シマシタル林業委員會ニ諮問致シマシテ、實際ニ即シテ統制ノ實際ヲ行フ積リデゴザイマス、尙ホ其ノ根本ノ問題ト致シマシマス、全體ノ物資ノ需給計畫ヲ如何ニスルカト云フコトハ、是ハ經濟安定會議ニ付議シテ定メル積リデ居リマス、此ノ經濟安定會議モ林業委員會ト同様ニ、其ノ委員會ノ構成ハ官廳中心デアリマセヌデ、殆ド主トシテ民間ノ人ヲ以テ其ノ委員ニ充テテ、審議ノ方法等ニ付キヤシテモ、從來ノ唯責任ヲ糊塗スルヤウナ會議ノ様式ヲ採ラズニ、本當ニ實際ノ意見ヲ十分ニ反映セシムルヤウナ運用ニ致シタイト存ジテ居リマス

尙ホ根本的ノ是等安定本部ノ機構其ノモノモ、實ハ從來ノ官廳トハ其ノ類ヲ異ニスルヤウニ考ヘ、現ニ其ノヤウニ組織シテ、アリマス、即チ部ヲ設ケ班ヲ設ケルノデアリマス、其ノ部、班ハ時ニハ官吏ヲ以テ其ノ長ニ充ツルコトモアリマス、多クノ場合ニハ民間人ヲ起用致シマシテ所謂「ワンダラー・マン」ト申シマス、現職ノ僑國ニ奉ズル氣持ヲ十分ニ發揮シテ實ヒマシテ、サウシテサウ云フ人ヲ或ハ部長、或ハ部員トシテ直接色々ノ立案ニ參畫シテ戴キマス、尙ホ時トシテハ民間人ヲ參與ト云フヤウナ形デ御願ヒ致シマシテ、唯意見ヲ聴クト云フデケデアリマセヌデ、實際ノ審議立案ニ、サウ云フヤウナ民間人ノ創意ヲバ、十分ニ發揮セシメルヤウナ形デ參預シマス、現ニ其ノ機構ヲバ整備シテ、アリマス、斯様ノ點カラ致シマシテ、今マデノ役所式會議ガ、何トナク一般ノ實際ト足ノ著イテ居ラナイヤウナ

感ノアリマシタヤウナコトモ、ナイヤウナ形ニ運用致シタイと思ヒマス、斯様ナ形式ニ於テ、十分ニ民主的ノ色彩ヲ發揮サセタイト存ジテ居リマス、次ニ安定本部ガ木材ニ付テドウ云フ點マデ關與スルノカト云フコトヲ申上ゲテ、御答ヘラ致シタイと思フノデアリマス、細カイ實際ノ林業ノ内容マデ、農林省デ主管シテ現ニヤリツ、アルヤウナコトマデ、安定本部ノ手が及ブ譯デハゴザイマセヌ、安定本部ト致シマシテハ先ツ第一ニ林産物ノ生産、割當、配給、此ノ計畫ヲバ致シマス、大キイ全般ノ日本ノ諸物資ノ配給計畫ハ安定會議ニ依ツテ定マリマス、尙ホ林産物ニ關シマシテハ先程申シマスル林業委員會ニ付議シテ之ヲ決定シ、斯ウ云フヤウナ方面デ生直、割當、配給ノ方面ヲバ關與致シメル、尙ホモウ一ツノ點ハ價格ノ點デ關與致シマス、是ハ物價廳ト安定本部ト一體ヲナスガ如キ機構ヲ現ニ作ツテ居リマシテ、安定本部總務局長官デアリマス、不肖ガ、同時ニ物價廳ノ長官ヲ兼ネテ居リマシテ、物價ノ問題、物價水準、又物價ニ依ツテ生産意欲ヲ起スト云フヤウナコトガ、全國ノ産業ノ振興及ビ經濟ノ安定ト云フコトト、矛盾ノナイヤウナ方策ヲ執リタイと思フノデアリマス、斯様ノ意味合カラ安定本部ト物價廳トハ密接ナ連絡ヲ圖リ此ノ方面デ林産物ノ價格ニ付テ適當ナル統制ヲバ加ヘテ參リタイと思フノデアリマス

次ニドウモ安定本部ノ仕事ハ一年先デナケレバ完成シナイノデアサウダ、ソレマデ放ツテ置カレテ困ル、是ハ私ガ本會議ニ於テ説明申上ゲマシタ言葉ガ不十分デアッタノダト思ヒマス、安定本部ノ仕事ハ補償打切りニ伴ヒマスル日本ノ經濟ノ何ト申シマスカ、整理、此ノ整理ノ中カラ起チ上ル日本ノ諸産業、其ノ他此ノ敗戦ニ依リマシテ日本ガ東洋ニ於ケル、各種民地ニ於ケル天然資源ヲ失ヒマシタコト、又國內ノ貧弱ナ天然資源ヲドウ云フ風ニシテ之ヲ動員シテ、殊ニ國外ノ力モ借りテ日本ノ經濟ヲ再建スルカ、如何ナル產業カラドウ云フ風ニト云フヤウナ國家百年ノ大計ハ、安定本部ノ機關モ一應一年ト予定サレテ居リマス、其ノ間ニ完成シタイ、斯ウ云フヤウナ意味デアリマス、緊急ノ措置ト致シマスル諸方策ハモウ日々トヤツテ居リマス、臨時物資需給調整法ガ通過致シマシテ、安定本部ガ根本ノ生産、割當、配給ノ指揮ヲシマスル任務ニ當リマス、早連其ノ方面ハ九月或ハ十月カラノ實際ノ物資ノ今申ス生産、割當、配給ノ統制ノコトニ當ルコトニ相成ツテ居リマス、譯デアリマス

照ニ付テ考ヘマスレバ、戰災ヲ受ケタ後ノ日本ノ木材ノ需要ト云フモノハ相當莫大デアリマス、又之ニ對スル供給ハ、國外カラノ供給モ早急ニ十分ニ期待スルコトモ出來マセヌ、然ルニ一方需要ハ依然トシテ以前ヨリモ殖エテ居ル、斯ウ云フヤウナ狀態ニ當リマシテハ、如何様ニ考ヘマシテモ、ヤハリソコニ需要ト供給トノ間ニ統制ノ行ハレト云フコトハ已ムヲ得ザル點デアリマス、少クとも日本ノ經濟ガ安定シマスルマデハ、木材ニ關シテハ統制ハ已ムヲ得ザルコトト私ハ承知致シテ居リマシテ、左様ナ見地カラ、而モ此ノ統制ガ戰時中ニアリマシタヤウニ、徒ラニ「イデオロギー」カラ出テ來ル統制、統制センガ爲メノ統制デアツテハ相成ラヌ、實情ニ即シマスル統制デ參リタイイ存ジテ居リマス、隨テ統制ノ必要ナキニ至リマスレバ、私ガ任ニ在リマスレバ、喜ンデ統制ノ外シテ參リタイと思ヒマス、併シナガラ現在ノ狀況カラ見マスレバ、少クとも日本經濟ノ再建マデハ、木材ノ配給ヲ自由ニ調整シ得ルマデハ、統制ハ已ムヲ得ザルモノト考ヘテ居リマス

トシテハ民主的ナ而モ自主的ナ統制トシタナラバ、イマ少シ草案トシテモ考ヘ方カアツタノデアリナカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、即チドウ云フコトデアルカト云ヒマス、此ノ林業會ノ事業ノ第四條トカ、或ハ林産組合ノ事業ノ第六十七條、此ノ兩條ノ指示ニ基ク林産物ノ生産及ビ配給に關する割當「ソレカラ二號」ノ林産物ノ價格統制に關する政府ノ施策に對する協力「斯ウ云ツタコトヲ此ノ法案ニマデ載セナケレバナラヌト云フノハ、少シクドウモドウ云フモノデアルカ、此ノ建前ノ如キハ、ドウシテモ私ノ考ヘデハ民主的デナイヤウナ氣分ガアル、即チ過去ノ官治制度ノ延長ヲ、我々ニ強ク思ハシムルモノガアルノデアリナカ、斯ウ云フ風ナ感ヲ抱カシメルノデアリマス、一時評判ガ惡カツタ統制ハ廢止スルガ、名ノ變ツタモノヲ以ツテ之ニ代ヘテ實質的ニハ變リガナイノデアリナカ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルハ、最重要ナル點デアアル所ノ許可制ノ問題デアリマス、本統制ノ非常ニ非難ガアツタ幾ツカノ中ノ重要ナモノノ一ツトシテ、此ノ許可制ノ問題

感ノアリマシタヤウナコトモ、ナイヤウナ形ニ運用致シタイと思ヒマス、斯様ナ形式ニ於テ、十分ニ民主的ノ色彩ヲ發揮サセタイト存ジテ居リマス、次ニ安定本部ガ木材ニ付テドウ云フ點マデ關與スルノカト云フコトヲ申上ゲテ、御答ヘラ致シタイと思フノデアリマス、細カイ實際ノ林業ノ内容マデ、農林省デ主管シテ現ニヤリツ、アルヤウナコトマデ、安定本部ノ手が及ブ譯デハゴザイマセヌ、安定本部ト致シマシテハ先ツ第一ニ林産物ノ生産、割當、配給、此ノ計畫ヲバ致シマス、大キイ全般ノ日本ノ諸物資ノ配給計畫ハ安定會議ニ依ツテ定マリマス、尙ホ林産物ニ關シマシテハ先程申シマスル林業委員會ニ付議シテ之ヲ決定シ、斯ウ云フヤウナ方面デ生直、割當、配給ノ方面ヲバ關與致シメル、尙ホモウ一ツノ點ハ價格ノ點デ關與致シマス、是ハ物價廳ト安定本部ト一體ヲナスガ如キ機構ヲ現ニ作ツテ居リマシテ、安定本部總務局長官デアリマス、不肖ガ、同時ニ物價廳ノ長官ヲ兼ネテ居リマシテ、物價ノ問題、物價水準、又物價ニ依ツテ生産意欲ヲ起スト云フヤウナコトガ、全國ノ産業ノ振興及ビ經濟ノ安定ト云フコトト、矛盾ノナイヤウナ方策ヲ執リタイと思フノデアリマス、斯様ノ意味合カラ安定本部ト物價廳トハ密接ナ連絡ヲ圖リ此ノ方面デ林産物ノ價格ニ付テ適當ナル統制ヲバ加ヘテ參リタイと思フノデアリマス

次ニドウモ安定本部ノ仕事ハ一年先デナケレバ完成シナイノデアサウダ、ソレマデ放ツテ置カレテ困ル、是ハ私ガ本會議ニ於テ説明申上ゲマシタ言葉ガ不十分デアッタノダト思ヒマス、安定本部ノ仕事ハ補償打切りニ伴ヒマスル日本ノ經濟ノ何ト申シマスカ、整理、此ノ整理ノ中カラ起チ上ル日本ノ諸産業、其ノ他此ノ敗戦ニ依リマシテ日本ガ東洋ニ於ケル、各種民地ニ於ケル天然資源ヲ失ヒマシタコト、又國內ノ貧弱ナ天然資源ヲドウ云フ風ニシテ之ヲ動員シテ、殊ニ國外ノ力モ借りテ日本ノ經濟ヲ再建スルカ、如何ナル產業カラドウ云フ風ニト云フヤウナ國家百年ノ大計ハ、安定本部ノ機關モ一應一年ト予定サレテ居リマス、其ノ間ニ完成シタイ、斯ウ云フヤウナ意味デアリマス、緊急ノ措置ト致シマスル諸方策ハモウ日々トヤツテ居リマス、臨時物資需給調整法ガ通過致シマシテ、安定本部ガ根本ノ生産、割當、配給ノ指揮ヲシマスル任務ニ當リマス、早連其ノ方面ハ九月或ハ十月カラノ實際ノ物資ノ今申ス生産、割當、配給ノ統制ノコトニ當ルコトニ相成ツテ居リマス、譯デアリマス

照ニ付テ考ヘマスレバ、戰災ヲ受ケタ後ノ日本ノ木材ノ需要ト云フモノハ相當莫大デアリマス、又之ニ對スル供給ハ、國外カラノ供給モ早急ニ十分ニ期待スルコトモ出來マセヌ、然ルニ一方需要ハ依然トシテ以前ヨリモ殖エテ居ル、斯ウ云フヤウナ狀態ニ當リマシテハ、如何様ニ考ヘマシテモ、ヤハリソコニ需要ト供給トノ間ニ統制ノ行ハレト云フコトハ已ムヲ得ザル點デアリマス、少クとも日本ノ經濟ガ安定シマスルマデハ、木材ニ關シテハ統制ハ已ムヲ得ザルコトト私ハ承知致シテ居リマシテ、左様ナ見地カラ、而モ此ノ統制ガ戰時中ニアリマシタヤウニ、徒ラニ「イデオロギー」カラ出テ來ル統制、統制センガ爲メノ統制デアツテハ相成ラヌ、實情ニ即シマスル統制デ參リタイイ存ジテ居リマス、隨テ統制ノ必要ナキニ至リマスレバ、私ガ任ニ在リマスレバ、喜ンデ統制ノ外シテ參リタイと思ヒマス、併シナガラ現在ノ狀況カラ見マスレバ、少クとも日本經濟ノ再建マデハ、木材ノ配給ヲ自由ニ調整シ得ルマデハ、統制ハ已ムヲ得ザルモノト考ヘテ居リマス

○武蔵(電)委員 只今兩大臣ノ御説明デ、統制ハドウシテモ置カナケレバナラス、斯ウ云フ風ナ御答ヘハ私モ實ハ同感デアリマス、併シ過日ヨリモ農林大臣ノ御説明ニ、ドウモ民主的デ而モ自主的デナケレバナラス、斯ウ云フコトヲ申サレタノデアリマス、只今ノ御話デ大體其ノ精神ハ分リマシタ、實ハ本案ノ内容ヲ檢討シテ參リマスニ考ヘラレルノデアリマス、ソレモ統制ノ上ニハ已ムヲ得ナイト云フヤウナ御考ヘガアルカモ分リマセヌガ、私共

トシテハ民主的ナ而モ自主的ナ統制トシタナラバ、イマ少シ草案トシテモ考ヘ方カアツタノデアリナカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、即チドウ云フコトデアルカト云ヒマス、此ノ林業會ノ事業ノ第四條トカ、或ハ林産組合ノ事業ノ第六十七條、此ノ兩條ノ指示ニ基ク林産物ノ生産及ビ配給に關する割當「ソレカラ二號」ノ林産物ノ價格統制に關する政府ノ施策に對する協力「斯ウ云ツタコトヲ此ノ法案ニマデ載セナケレバナラヌト云フノハ、少シクドウモドウ云フモノデアルカ、此ノ建前ノ如キハ、ドウシテモ私ノ考ヘデハ民主的デナイヤウナ氣分ガアル、即チ過去ノ官治制度ノ延長ヲ、我々ニ強ク思ハシムルモノガアルノデアリナカ、斯ウ云フ風ナ感ヲ抱カシメルノデアリマス、一時評判ガ惡カツタ統制ハ廢止スルガ、名ノ變ツタモノヲ以ツテ之ニ代ヘテ實質的ニハ變リガナイノデアリナカ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルハ、最重要ナル點デアアル所ノ許可制ノ問題デアリマス、本統制ノ非常ニ非難ガアツタ幾ツカノ中ノ重要ナモノノ一ツトシテ、此ノ許可制ノ問題

ヲ探討シレタト云フコトハ、ヤハリソコニ非常ニ疑問ヲ持ツノデアリマス、實ハ之ニ付テハ何カ特別ノ理由ガアルノデアリナカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ實ハ本當ノ政府ノ肚ノアル所ヲ、我々ニ聽カシテ貰ヒタイト云フヤウナ考ヘモアツタノデアリマス、只今伺ツタノデ大體ハ分リマシタガ、私ノ考ヘカラ申シマスルナラバ、ヤハリ民主的或ハ

壺サセ。自由ニ配給サセモ、其ノ當時ノ情勢ハ需要ヲ充タスコトガ出来タノデアル、然ルニ戰爭モ酷ニナリ、終戰ノ前後ニナリマス、需要高ガ非常ナ厩大ナ數ニ上リマシテ、御承知ノヤウニ二百四、五十萬戸ノ戰災家屋ノ復旧ト云フヤウナコトニナリマス、木材ハ實ニ厩大ナモノデアリマス、少クトモ是ニ八年數億ノ供給ヲ必要トスルノデアリマス、然ルニ生産ハ種々ノ諸條件ガ非常ニ逼迫ヲ告ゲマシテ、鐵道ニマデ追込マレテ居ルノデアリマスカラ、ヤット六七千萬石程度ノ生産デアリマス、隨之ヲ如何ナル方向ニ、如何ナル種類ノ電器ヲ置イテ配給スルカト云フコトハ、中々容易デナイノデアリマシテ、茲ニ統制ノ必要ガ多分ニアツタノデアリマス、斯カル時期ニ統制

法規ノヤウナ聲明ヲ出サレタノデアリマスルカラ、其ノ聲言ノ起ツテ來ルコトハ當然ト言ハネバナラスト考ヘルノデアリマス、爲ニ政府ノ企圖スル方面ヘノ木材ハ、十分ニ配給サレナカッタコトハ蓋シ當然ナコトデアッタラウト私ハ思フノデアリマス、私ハ皮肉ノヤウデアリマスルガ、政府ガ斯カル手ヲ打ツタノハ何カ事情ガアッタ爲デハナイカト想像セラレルノデアリマス、世論ガ之ニ對シ相當喧マシカッタノデアリマス、實ハ斯ウ云フ機會ニ遠慮ナク斯ウ云フ事情ガアルトスレバ、御聽カセヲ願ヒタイ、斯ウ云フ風ニ考テ居ルノデアリマスガ、是等ノ點カテ考ヘテ見ル時ニ、木材ノ統制ト云フコトハ常情ニ難カシイモノデ、非常手加減ヲ要スルモノデアルト云フコトヲ私ハ考ヘマシテ、之ヲ十分考慮ニ入レテ居テ裁キマセスナラバ因ル、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、之ヲ機械的ニ一概ニ簡單ニ統制ヲ強行スル

コトニ於テハ、生産ノ諸條件デアル所
ノ、或ハ食糧ノ配給、或ハ資材ノ點カ
ラ、或ハ特ニ運搬ノ點カラ、生産ハ不
能ニ陥ルヤウナコトガアルノデハナイ
カト考ヘルノデアリマス、御承知ノヤ
ウニ、木材ハ立木ノ價格ヨリモ運賃
方ガ、非常ナ輕費ニ上ルコトハ御承知
ノ通りデアリマス、殊ニ今日ノ如
キ運賃ガ非常ニ上ツテ參シテ居リマ
ス、是ハ、是ハ餘程ソコニ價格ノ統制
云フ點等ニ對シマシテハ、周到ナル考
ヘヲ廻ラシマセヌナラバ木材ノ生産ハ
停頓スル、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデア
リマス、後程輸送ノ問題デ伺ヒタイ
思フノデアリマス、今回段々伺ヒマ
スルト、運賃ガ四倍ニ決定シタト云フ
話デアリマス、之ニ對シマシテ將來
ノ見込ミト云フモノガ一體ドウ云フコ
トデアルカ、斯ウ云フコトモ考ヘテ伺
ツテ置キマセヌナラバ、生産ニハ響手
出來ガイ、兎ニ角斯ウ云フ點カラ考ヘ
テ見マシテ、木材ノ機械的ニ簡單ニ統
制スルト云フコトハ非常ニ問題デア
ル、斯ウ云フ風ニ實ハ考ヘテ居ルノデ
アリマス、殊ニ價格ノ點デゴザイマス
ガ、木材業ハ今日ノ狀態カラ申シマス
ナラバ、ドウモ擴大生産ナント云フコ
トハ逆モ出來ナイノデ、再生産モ或ハ
不可能ノ狀態デハナイカ、斯ウ云フ風
ニモ考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ原
因ハ何デアアルカト申シマスナラバ、價
格ノ改訂ガ非常ニ遲レト云フコトデ
ゴザイマス、公定價格ガ決定サレル前
ニ生産諸費ガ非常ニ上ツテ參リマシ
テ、公定價格カラ非常ナ距離ガ出來テ
シマフノデアリマス、斯ウ云フコ
トニナリマス、斯ウ云フコトニナ
リマス、木材ノ生産ハ一時止メル外
ハナイト云フコトニナルノデアリマ

ス、公定價格ヲ從來ノヤウナ方法デナ
ク、協定價格ヲ決定スルヤウナ方法デ
進ンデ戴キマセヌナラバ、順調ニ木材
ノ生産ヲ進メルコトハ出來ナイノデハ
ナイカト考ヘルノデアリマス、併シ段
段伺ヒマストヤハリ公定價格ハ實施サ
レルト云フコトデアリマス、只今
總務長官殿ノ御話ニ依リマス、十分
民間ノ意向ヲ體シテ實際ニ即シタ所ノ
統制ヲ行フノデ、此ノ御言葉ハ至極私
共結構ナコトデアルト考ヘマス、
ドウモ從來ノ狀態カラ考ヘマス、
此ノ價格等ノ問題ガ随分民間カラ意見
ヲ具申致シマシテモ、ソレハ必ズ採用
サレルヤウニナツテ居リマス、其
ノ實現ガ非常ニ日月ヲ要シマシテ、公
定ガ殆ド用ヲナサナイヤウナ實情ニア
ルノデアリマス、斯ウ云フ點カラ考ヘ
テ見マシテ、此ノ價格ノ問題ニ付キマ
シテハ、特別ナル考慮ガ必要デハナイ
カ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス
ソレカラ今一ツ重大ナ問題ハ最近ノ
新紙幣ト封鎖預金ノ問題デアリマス、現
在進駐軍ノ材料等ヲ出シテ居リマス
ガ、八割ハ封鎖預金ニシテ後ノ二割
ガ新紙幣デアル、併シ一方買入ノ方ハ
ドウデアアルカト申シマス、全額新紙
幣デナケレバ立木ノ入手ハ出來ナイト
云フヤウナ狀態ニナツテ居リマシテ、
是等ノ問題カラ立木ノ買入ト云フコト
ハ一時全ク頓挫シテ居リマス、現在
ノ各縣ノ生産ハ恐ラハ地木社自體ノ
買入ノ殘材ノ處理デアラウト云フコト
ヲ考ヘル時ニ、近キ將來ニ一旦木材ノ
生産杜絶ト云フヤウナ時期ガ到來ス
ノデハナイカト考ヘラレルノデアリマ
ス、是等ノ點カラ考ヘルト玆ニ又一ツ
ノ問題ガ起ツテ參リマス、今同
ノ經濟ノ問題カラ資金ノ調達ト云フコ

トニ、非常ニ問題ガ起ツテ參ルノデア
リマス、是等ニ對シマシテ政府ト
致シマシテハ、如何ナル御指導ヲサレ
ルカ、之ニ依ツテ此ノ木材ノ生産ノ増
減ハ決定サレルデアラウ、斯ウ云フヤ
ウナコトモ考ヘラレルノデアリマス、
是等ノ點ニ付キマシテ農林大臣ト、經
濟安定本部總務長官ノ御意見ヲ伺ツテ
置キタイト存ジマス
○和田國務大臣 從來ノ統制ノヤリ方
ニ付キマシテハ、是ハ今言ハレマシタ
ヤウニ私モ其ノ點ハ全ク改ムベキコト
ダト思ツテ居リマス、殊ニ農産物、農
業關係ノモノハ全ク時ヲ必要トスルモ
ノデアリマシテ、價格ノ決定ガ遅レ
バ遅レル程、折角妥當ナ價格ガ決マツ
タモノガ、モウ決マツタ時ニハ餘リ致
果ガナイト云フコトガアリマシテハ、
折角ノ勞苦ガ無駄ニナルノデアリマシ
テ、ソレ等ノ點ハ十分今後ハ安定本部
ノ方デ注意シテ戴ケルモノダト思ツテ
居リマス、唯從來各省ガボカト、
ソレハノ立場カラ價格ヲ決メテ行キ
マシテ、非常ニ其ノ間ニ不合理ガ起ツ
タト云フ點ハアツタト思フノデアリマ
ス、サウ云フ點ヲ本當ニ改メテ、日本
ノ經濟ノ安定ガ、ヤハリキチントシタ
計畫ニ從ツテ、色々ナ施策ガ打タレル
ト云フ必要ノ爲ニ、玆ニ安定本部ガ出
來タヤウナ譯デアリマシ、斯ウ云フ
點ニ付キマシテモ凡ニ面カラ檢討致
シマシテ、公定價格ヲ、基本的ナ物
資ニ付テハ決メテ行カレルヤウニナル
ノダト思フノデアリマス、例ヘバ鋼材
ガ知ラナイ内ニボカント上ツタ爲ニ、
又外ノソレヲ使ツテ居ル色々ナモノヲ
上ゲナケレバナラナイト云フヤウナ、
經濟的ノ色々ナ矛盾ガ起ラナイヤウ
ニ、ハツキリトシタ價格政策ト云フモ

ノガ、今後ハ安定本部デ執ラレテ行ク
ベキダト思フ譯デアリマス
ソレカラ新圓ノ點デアリマス、是
ハ御話ノ點十分此方ト致シマシテモ御
聽キシテ置キマシテ、今後大藏省トモ
ソレ等ノ點ニ付テ色々交渉致シタイ
思フノデアリマス、今マデノ所唯選
送貨デアルトカ、勞賃デアルトカ、ソ
レ等ノモノヲ色々考慮致シマシテ、大
體木材ノ價格ノ二割ト云フモノニ付テ
ハ新圓ヲ出シテ賣ツテ居ル譯デアリマ
ス、是ハ色々ナ事情モゴザイマス、
デ、ソレ等ノ點ニ付テハ又大藏省ナド
トモ、十分交渉ヲ致シテ行キタイ、
斯様ニ考ヘル次第デアリマス
○農務大臣 只今ノ籌算ネノ中、統
制ノ仕方ノ問題ニ付キマシテハ農林大
臣ノ御答ヘニナラマシタ通りニ考ヘ
テ居リマス、尙ホ色々御述べニナラ
マシタ林産品ノ通常ノ農産物ト違フヤ
ウナ點、況ヤ外ノ一般ノ工業製品ナド
トモ違フ特殊ナ性質ガアリマス點ナド
ニ付キマシテハ、十分注意致シタイ
存ジテ居リマス、色々御質問ノ中ニ述
ベラレマシタ御意見ハ、私はカラ自分
ノ施策ヲ考ヘマス中ニ十分考慮ヲ加
ヘタイ、サウ存ジテ居リマス、ソレカ
ラ價格ノ問題デアリマス、此ノ價格
ノ決定ガ兎角遲延勝チデアツタト云フ
ヤウナ問題、是モ只今農林大臣ノ御セ
ラレマシタヤウニ、從來ハ物價ノ規定
スルノガ各主管々々ノ所デ區々デア
ツテ、其ノ爲ニ非常ナ凸凹ガ出來テ、
今マデ均齊ノ取レタモノガ破レト云
フヤウナコトモゴザイマシタ、又一ツ
ニハ最近經濟事情ガ急ニ變化致シマ
スノデ、物價ノ改訂ガ中々追ツ付カ
ズト云フヤウナ事情モアラウト思ヒマ
シ、今度物價廳ガ特ニ擴大サレマシ

テ、相當強ク權限ヲ持ツヤウニナリマ
シタコトハ、一ニハ各諸物價ノ間ノ不
均衡ヲナカシムルコトデアリ、又一
ツニハ經濟ノ安定ヲ圖ル共ニ、即チ
物價ノ變動ノ必要トスル事情ヲ出來
ルダケ少クシテ、物價ノ何ト申シマス
カ平準ヲ圖ルト云フ點ニ重點ガ置カレ
マス、是ハ將來ノ運用ノ問題デ
アリマシテ、今カラ大キコトモ申
上ゲルコトハ出來ナイカモ知レマセ
ケレドモ、從前トハ其ノ間ニ餘程物價
ノ決定等ニ付キマシテハ違ツテ參ル、
斯ウ申上ゲテ宜イカト思フノデアリ
マス、ソレカラ又木材ノ如キハ組合デ丸
公ヲ作ラナクモ、協定價格ヲ間ニ合フ
デハナイカト云フヤウナ御意見ノヤウ
ニ拜承致シマシタ、此ノ點ハ如何カ
ト存ゼラレマス、私ハ木材ガ色々ナ
然ノ條件ニ依リマシテ様々ナ態樣デ出
來マシテ、工業製品ノ如キ一ニ規格
ニ依ツテ生産出來マスモノデモアリ
セヌカラ、細カク各種ノ材質、寸法等
ニ付テ規定スル、公定相場ヲ作ルト云
フコトハ如何カト思ヒマス、私ハ林産
物等ニ付キマシテハ、或ルベク或ル標
準ノモノニ付テ丸公ヲ定メルトカ、標
準物ニ付テ丸公ヲ定メテ、殊ニ品種
ノ特殊ナルモノ、或ハ需給ノ量ノ少イ
モノ等ニ付キマシテハ、或ハ公定價格
ノ標準トシテノ標準價格ニ依ラシメル
ト云フノガ、實際ニ適スルノデハナイ
カト云フヤウニモ考ヘテ居リマス、
マデ是モ實際ノ問題ニ當ツテ見マセヌ
ト確タルコトハ申上ゲラレマセヌ、私
ハ林産物、殊ニ木材ノ價格ニ付キマ
シテハ、左様ナ方針ガ宜イノデハナイ
カト考ヘテ居リマス
○武蔵(常委員) 只今長官ノ御話デ公
定價格ノ問題ハ御意見承知致シマシ

タ、返スト。申上ゲルヤウデアリマ
スガ、木材ノ公定價格ハ特殊ナ形ニ於
テ決定サレト云フ御話デアリマス
ガ、是ハ形ハ如何様デモ結構デアリマ
スルガ、木材ノ特殊性ヲ考慮セラレマ
シテ、マア我々ノ常用語デ申シマスル
ナラバ、協定價格ノモノヲ何處マデ
モ採用シテ参リマセヌナラバ、木材ノ
生産ハ停頓ラ來タスデアラウト云フコ
トヲ、御考ヘ置キテ願ヒタイト存ズル
ノデアリマス

尙ホ次ニ此ノ木材ノ増産ノ三大要件
トデモ申シマスモノハ、恐ラクハ供木
ノ問題、輸送ノ問題、ソレカラ價格ノ
三點ニアルト私ハ考ヘルノデアリマ
ス、價格ノ點ニ付テハ只今質疑應答
ガアツタ通りデアリマスガ、供木ニ關
シマシテ最モ關係ノ深いハ森林組合
デゴザイマス、森林組合ト戰災復興ト
云フコトハ、非常ニ重大ナ關係ニ置カ
レテ居ルと思フノデアリマス、元來森
林組合ハ戰時下或ハ今日ノヤウニ急迫
スル所ノ戰災復興ノ目指シテ計畫サレ
タ所ノ組合デハナイノデアリマス、專
ラ森林育成維持ヲ主眼トシテ出發セラ
レタ組合デアリマス、隨テ過去ノ實績
ヨリ考ヘテ見マシテ、果シテ今後國家
ノ方針ニ即シテ、立木ノ供出ヲ順調ニ
進メルコトガ出來ルカ、又森林組合ト
シテモ實ハ組合内ノ重大ナ問題ガア
ウト思ヒマス、其ノ一つハ何デアルカ
ト申シマスレバ、伐採後ノ跡地ノ處理
ノ問題、ソレカラ立木ヲ入手スルノ
貨幣價值ノ問題、非常ニ困難ナ問題ガ
其ノ中ニアリマスルガ、兎ニモ角ニモ
立木ノ供出ハ森林組合ガ擔當シナケレ
バナラズ、此ノ森林組合ニシテ、戰時
中ノヤウナ強制的デナク、木材ノ供給
ヲ擔當サシテ行クノニ果シテ是ガ願調

ニ進ミ得ルモノカ、斯ウ云フ風ナ疑問
ヲ私ハ持ツテ居ルノデアリマスガ、農
林省トシテ此ノ方策ガ最早立ツテ居ル
ノデアリカドウカ、現在ノ輸送陣ノ困
係等カラ考ヘテ見マス、原木ハ或ハ
無代價デモ收買ハスト云フヤウナ狀
態ニマデナツテ参リマシタ、併シ最近
財產稅ニ依ツテ森林ガ幾ラカ處分サレ
ルノデハナイカト云フヤウナコトモ多
少ハ考ヘラレマスガ、併シ此ノ莫大ナ
果シテ此ノ森林組合ガ能ク其ノ責務ヲ
全ウシ得ルカドウカ、斯ウ云フヤウナ
コトヲ私ハ考ヘマシテ、政府ノ之ニ對
スル方針ヲ伺ヒタイノデアリマス

○鈴木(強)政府委員 只今御質問ノ點
ハ、本當ニ此ノ林業會法ガ運用出來ル
カ出來ナイカ、懸ツテ茲ニアルト思ヒ
マス、如何ニシテ供木ヲスルカ、此ノ
爲ニハ林業會法ヲ作ルニ當リマシテ、
立木ノ消費者デアアル森林組合ト林產物
ノ關係者ト、共ニ手ヲ握ツテ行カナク
テハナラズト云フ問題ガ茲ニアルノデ
デアリマス、ドウシテモ戰後ノ日本ノ經
濟ヲ建テル爲ニハ業者一體ニナリマシ
テ、一日モ早ク戰後經營ノ出來ルヤウ
ナ方向ニ進マナケレバナラスト思ヒマ
ス、先ヅソレニハ勿論生産的ニ日本經
濟ノ再建ヲ圖ラナケレバナリマセヌ
ガ、第二ニ價格ノ問題デアアルカト思
ヒマス、適正ナル價格ニ依ツテ再生產ノ
出來ルヤウナ過程、御説ノヤウニ後ノ
植林ノ關係其ノ他ヲ勘案シマシテ、價
格ニ於テモ引合フ、又是等ニ付キマシ
テモ他ノ物價ノ關係モアリマスノデ、
先ヅ林道ヲ開設シナクテハナラヌカト
思ヒマス、或ハ治水事業ヲ起ス、斯ク
致シマシテ適正ナル價格デモ出シ得ル
ト云フヤウナ觀點ガ、重要デアルト考

ヘマス、政府ニ於キマシテモ勿論國有
林ハ十分ナル賣拂ノ出來ルヤウニシタ
イト思ヒマス、所謂收穫ニ關スル臨時
ノ特例、或ハ國有林ノ賣拂ヒニ關スル
特例ヲ出シマシテ、持ツテ居リマスモ
ハ全部一應ハ賣拂ヒノ對象ニナル、
又賣拂ヒノ事務ニ付キマシテモ極メテ
簡素ナ方法ヲ執リマシテ、ドモヤウナ
林群モ一應ハ賣拂ヒノ對象ニナリ得
ル、斯様ニ致シマシテ、民間業者共々、
供木ノ出來ルヤウナ方向ニ努力シテ居
リマス

○武藤 常委員 尙ホ森林組合其ノ他
ニ關シマシテ伺ヒタイコトガゴザイマ
スガ、大臣ノ御都合モアリマセウカ
ラ、ソレハ後ニ廻シマシテ、輸送關係
ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス、木材生産
配給ノ如何ハ、實ニ輸送ニ懸ツテ居ル
ト私ハ考ヘルノデアリマス、林產物ハ
其ノ取扱ヒノ困難性ニ依リ、他ノ物資ヨ
リモ實際ニ當ル輸送業者カラ嫌ハレ、
一日延ビトナリ勝テアル、殊ニ山間ノ
惡路地帯ニ於テ著シイ、然ルニ今日ノ
現狀カラスルナラバ、斯カル地帯デナ
ケレバ森林ハ最早木材トシテ利用サレ
ルヤウナモノガナイ狀態デアリマス、
又木材運搬ニハ相當ノ技術ガ必要デア
リマス、隨テ木材運搬業ノ方ハ專屬的
デナケレバ其ノ能率ガ上ラナイノデア
リマス、馬力ノ如キハ專屬ト臨時デハ
其ノ差ガ非常ニアリマシテ、臨時ノ
モノデハ專屬的ノモノノ半分位シカ實
際出來ナイ狀態デアリマス、是等ノ爲
ニ木材ノ生産ヲ阻礙セラル、コトハ實
ニ大ナルモノガアルノデアリマス、之
ヲ解決スルノニハ、實ハ度々問題トナ
ツテ居リマスルガ、此ノ解決ハ運輸當
局ノ考ヘ一ツニ依ツテ私ハ出來ルデア
ラウト思フノデアリマス、結論的ニ申

シマスナラバ、運送業統制ニ關スルコ
トニナルノデアリマシテ、之ニ對シ統
制ノ爲ノ統制ヲ廢シテ、實際ニ即スル
コトガ必要デアナイカ、輸送ノ能率ヲ
向上セシメルコトニ依ツテ、生産ノ可
能性ガ決定セラル、ノデアリマシテ、
私ハ木材ノ供出ノ如何ハ、大部分輸送
ニ懸ツテ居ルと思フ、先般モ度々戰災
復興ノ出來ナイノハ木材ニ責任ガアル
ノデアルト申サレテ居リマスガ、其ノ
話ノ中ニ或ハ山ニ、或ハ土場ニ、或ハ
工場ニ木材ハ山積シテ居ル、併シナガ
ラソレガ需要地ニ運搬出來ナイ爲ニ十
分ニ利用セラレナイ、斯ウ云フコトガ
事實アルノデアリマシテ、實際細カナ
問題ニナリマスルガ、木材ノ輸送ト云
フモノハ非常ニ複雑デアリマシテ、置
場ト關係上非常ニ澤山集メテカラ運
搬スルコトニナリマス、其ノ積ミ方、
操作等ニ依リマシテ非常ニ能率ニ妨害
ヲ與ヘル、或ベク森林カラ搬出サレタ
ナラバ、餘リ溜ラナイ中ニ搬出スル
斯ウ云フコトデゴザイマスルガ、統制
ニナリマシテカラハ配車ガ困難ナ爲
ニ、澤山溜ラナイト配車シナイ、斯ウ
云フ風ナ關係上、自動車ガ何臺モ行ツ
テ一度ニ積マウト云フ時ニハ一日ニ四
回歩ケル所ガ二回シカ出來ナカッタ、
或ハ細イ道ニ參リマスト自動車ノ操
車、或ハ馬車デ參リマスト馬車ノ操
作ノ爲ニ、殆ド半日ヲ費シテシマ
ス、斯ウ云フ風ナコトデ自動車並ニ馬
車ノ統制ト云フコトハ、木材生産ニハ
非常ニ妨害ニナツテ居ル、然ラバ之ヲ
ドウ云フ風ニスルカト云フコトデアリ
マスガ、戰時中出來タ自動車ノ統制會
社、之ヲ敢テ今廢止セヨトハ申シマセ
ヌケレドモ、是ト切斷シテ業者ニ自動
車ノ自家用ヲ持タセルト云フコトガ、

最モ大切デアルト考ヘルノデアリマ
ス、事實木材生産業者ニ自家用ヲ持
セルコトニ依ツテ、能率ノ向上ハ儼然
タルモノガアルト私ハ思ヒマス、是ナ
クシテハ木材ノ生産ハ矢張り順調ニ進
マナイト考ヘルノデアリマスガ、實ハ
昨年デスカ、一昨年デスカ、山林局カ
ラハ各業者ガ自動車ヲ持ツヤウニ云
フコトヲ、縣ニ通牒ヲ發セラレテ居ル
ヤウデアリマス、併シナガラ縣ニ於テ
ハソレレノ統制ガアリマシテ、之ヲ
業者ニ持タセルコトハ拒絶サレテ居リ
マス、斯様ナ狀態カラ輸送ノ點ニ於テ
非常ニ頓挫ヲ來シ、度々問題ニナツ
居リマスヤウニ、木材ハ伐出ハサレタ
ガ、土場デ腐ツテ居ルト云フヤウナ狀
態ガ相當現出致シテ居ルノデアリマ
ス、是等ノ點カラ考ヘマシテ私ハ統制
ヲ絕對ニ廢セト云フノデアリマセヌ
ガ、飽クマデモ自家用ノ許可ヲ、積極
的ニ運輸省ガ獎勵セラル、コトガ、此
ノ復興ニ最モ裨益スルノデアナイデア
ラウカト考ヘルノデアリマス、之ニ付
キマシテ運輸大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイ
ト思ヒマス

○平塚 國務大臣 木材ハ食糧、石炭ニ
次グ重要物資デアリマシテ、運輸省ト致
シマシテハ、非常ニ力ヲ入レテ居ルノ
デアリマス、木材ノ出ナイノハ輸送ノ
關係ダト言ヒマス、勿論サウ云フ
點モアルダラウト思ヒマスガ、私ノ見
ル所デハ運ベナイコトハナイノデア
リマス、現在デモ相當輸送力ヲ持ツテ
居リマス、唯土場カラ驛マデ出ル間ノ
「トラック」ノ不足ナ爲ニ出ナイト云フ
コトハ相當ニアルノデアナイカ、併シ
ナガラ是ハ從來ノ業者、木材ヲ運ンデ
居タ業者ト云フモノガ、其ノ仕事ヲ

最モ大切デアルト考ヘルノデアリマ
ス、事實木材生産業者ニ自家用ヲ持
セルコトニ依ツテ、能率ノ向上ハ儼然
タルモノガアルト私ハ思ヒマス、是ナ
クシテハ木材ノ生産ハ矢張り順調ニ進
マナイト考ヘルノデアリマスガ、實ハ
昨年デスカ、一昨年デスカ、山林局カ
ラハ各業者ガ自動車ヲ持ツヤウニ云
フコトヲ、縣ニ通牒ヲ發セラレテ居ル
ヤウデアリマス、併シナガラ縣ニ於テ
ハソレレノ統制ガアリマシテ、之ヲ
業者ニ持タセルコトハ拒絶サレテ居リ
マス、斯様ナ狀態カラ輸送ノ點ニ於テ
非常ニ頓挫ヲ來シ、度々問題ニナツ
居リマスヤウニ、木材ハ伐出ハサレタ
ガ、土場デ腐ツテ居ルト云フヤウナ狀
態ガ相當現出致シテ居ルノデアリマ
ス、是等ノ點カラ考ヘマシテ私ハ統制
ヲ絕對ニ廢セト云フノデアリマセヌ
ガ、飽クマデモ自家用ノ許可ヲ、積極
的ニ運輸省ガ獎勵セラル、コトガ、此
ノ復興ニ最モ裨益スルノデアナイデア
ラウカト考ヘルノデアリマス、之ニ付
キマシテ運輸大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイ
ト思ヒマス

據當シナケレバナラヌト思フノデアリマス、勿論業者ニ對シマシテモ重要物資搬出ノ爲ニハ、多少許シテ居リマスルケレドモ、大體自動車ノ生産が十分ナイノト、燃料ノ不足ナドノ關係デ、自家用ニ多ク出ス譯ニ行カナイノデアリマシテ、ドウシテモ全國ニアル從來ノ業者ニ重擔ヲ置イテ運バセルト云フコトデナケレバナラヌト思フノデアリマス、非常ニ其ノ點ハ困難ナ場合モアルカト思ヒマスケレドモ、今マデ搬出シテ居ル實績ガアル以上、多少車モ殖エテ居リマスルカラ、減ルト云フコトハ私ハアリ得ナイト思フテ居リマス、又鐵道ニ關シマシテハ先程申上ゲマシタヤウニ、輸送力ヲ持ツテ居ルコトハ事實デアリマス

○武蔵(常)委員 運輸大臣ハ現在ノ統制ヲ此ノ儘デ何處マデモ御進メニナルト云フヤウナ御考ヘノヤウニ伺ヒマシタガ、御承知ノ通りアノ輸送統制會社ハ戰時中ニ出來タモノデアリマシテ、例ヘバ地本社ハ非常ニ非難ノ的ニナツタガ、アノ戰時中ニ於ケル所ノ役目ハ相當果シタ、而モ重點ノ二仕事ヲ果シタノデ、寧ろ爾餘ノ需要者カラ非難ガ多クタガ、地本社ハ非常ニ評判ガ悪クタガト云フヤウナコトデ今度解散ノ命令ガ下ツタ、斯ウ云フ風ナ狀態デアリマスルガ、アノ自動車ノ統制會社モヤハリ戰時中ニ出來タモノデアリマス、而モ是レ亦戰時中ニハ相當ノ役目ヲ果シタト存ジマスルガ、ヤハリ戰争ガ終リマシタ今日ノ此ノ生産ニハ、實際ニ即シナイ部面モ相當アルノデアリマシテ、寧ろ民主的ナ見地カラヤハリ生産業者ニ自家用ヲ持タセルト云フコトガ、製鋼ノ要務デアルト私ハ考ヘリノデアリマス、是レナクシテハ輸送

ハ十分ニ行カナイト考ヘテ居リマスガ、若シ斯様ナ狀態ノ爲ニ木材ガ或ハ土場ニ隔ツテ居ルトカ、或ハ山ニ隔ツテ居ルトカ云フヤウナコトニナリマスナラバ、是ハ由々シキ大問題デアリマスルノデ、寧ろアノ會社ノ解散ヲ、私ハ要求ハ致シマセヌガ、飽クマデモ此ノ自家用ヲ獎勵ナサルト云フコトガ、國家經濟ノ爲ニ非常ナ利益デアル、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、尙ホ只今鐵道輸送ノ關係ガ出マシタカラ、是レ亦伺ヒタイノデアリマスガ、現在ノ運送店ノ狀態デアリマス、是ガ一驛一店主義ノ爲ニ、驛ニ依ツテ非常ニ接ヒニ差ガアル、一方ノ驛ニ於テハ誠意ヲ以テ非常ニ能ク成績ヲ擧ゲテ居ルガ、一方ノ驛ノ運送店ハ殆ド問題ニナラス、斯ウ云フ風ナ狀態ガ現出致シテ居リマス、最近業者カラ懸ヘラレタノニ依リマス、或ル驛ノ一箇月ノ積載ガ十九車、一方ノ驛ノ一箇月ノ積載料ガ同料デアルト云フヤウナコトデ、業者ガ非常ニ悲鳴ヲ擧ゲテ居リマシタガ、斯様ナ狀態ガ各所ニ現出致シテ居ルノデアリマス、是ナドモ餘程今後日本ノ經濟上ニハ十分考慮ニ入レテ是正セナケレバナラヌコトデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、木材ハ確カニ只今御言葉ノヤウニ、驛ニ出レバ何トカ彼トカ搬出ニナリマスノデ、木材ノ輸送カラ其ノ運送店ノ方面ヲ、ソレ程私ハ甚ダ強調シテ申上ゲルノデアリマセヌガ、ドウシテモ「トラック」デケハ木材ノ生産業者ニハ自家用ヲ許スト云フコトヲ、ハ絕對的ニ必要ナモノデアルト私ハ強調致シタイノデアリマス、何カ輸送業者ハヤハリ會社ノ經濟的ナ考ヘカラ、飽クマデ

モ運輸省ニ迫ツテ、現狀維持ト云フコトヲ御主張ニナツテ居ルデアリマセウガ、是ハ本當ニ國家經濟ノ上カラ考ヘマスナラバ重大問題デアリマスノデ、運輸大臣ノ特段ナル御考慮ヲ煩ハシタイト考ヘル次第デアリマス

○平塚國務大臣 此ノ自動車組合ト云フモノハ戰時中統合サセマシタノデ、政府トシテモハ相當責任ガアリマセウ、私ト致シマシテハ、ア、云フ大キナ統合會社ガ縣ニ二ツ三ツアツテ、其ノ會社ガ自動車ヲ運送シテ行クト云フコトハ適當デナイト考ヘテ居ルノデアリマス、唯非常ニ無理ナ統合ヲシテ居ル爲ニ、急激ニ之ヲ解體スルト云フコトハ事實上困難デアリマスガ、併シ時局ガアレバ是ハ戰爭前ノヤウナ形ニナシマセヌ以上ハ輸送力ノ増強ハ出來ナイト思フノデアリマス、唯現在アレハ構ハヌデ、物ヲ動かカス者ニ自家用ヲ許スト云フコトハ、是ハ少シ無理ダト思フテ居リマス、出來ルデケ早イ機會ニアノ統合體ヲ解イテ、サウシテ地方的ニ活動ノ出來ルヤウナ形ヲ取ラナケレバイハ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、何レニ致シマシテモ、此ノ自動車ノ生産ガ思ハシクナイノデアリマシテ、急激ニ輸送力ヲ殖ヤスト云フコトハ困難デアリマスカラ、ドウシテモ現在ノ業者ヲシテ此ノ運搬ニ努力サセル以外ニ途ガナイノデアリナカト考ヘテ居リマス、一方鐵道ノ方ハ多少何處カガ停頓シテ居ル所ハアリマセウケレドモ、是ハドウモ私モ方々汽車ヘ乗ツテ見テ、木材ガ山程アツテドウシテ運バナイノカ、必ズシモ鐵道ノ輸送力ガナイバカリデハナイヤウニ伺ツテ居ルノデアリマス、例ヘバ進駐軍ノ木材ヲ運

ベトカ、或ハ復興院關係ノ木材ヲ運ベト云フヤウニ鐵道ノ方ニ指圖ガアリマスト、ソレハモウ非常ニ圓滑ニ運バレテ居ルノデアリマス、是ハ重要物資デアリマスノデ、農林省ノ方トモ能ク連絡ヲ執ツテ、木材ノ輸送ニ力ヲ注ギタイト思フテ居リマス、今日デモ國有鐵道ノ復舊ハ比較的早イノデアリマス、殊ニ貨物列車ニ對シマシテハ、マダ相當ニ増設ノ可能性ガアルノデアリマスガ、今問題ニナツテ居ル石炭ガ思フヤウニ、鐵道ノ要求スルデケノモノガ入リマセヌ爲ニ、急激ニ輸送力ヲ殖ヤスト云フコトハ困難カモ知レマセヌケレドモ、多少今「ト」アタリカラ石炭ガ殖エルト云フ豫想ヲ持ツテ居リマス、隨テ鐵道ノ石炭モ多ク取レルノデアリナカト思ヒマス、サウナリマスト貨車ノ輸送ガズツト殖エルト云フ見通シヲ持ツテ居リマス、何レニシマシテモ是ハ重要物資デアリマスノデ、御質問ノヤウニ本當ニ運輸省ガ力ヲ入レテ、此ノ木材ヲ輸送シナケレバナラヌト云フコトハ十分考ヘテ居リマス

○武蔵(常)委員 只今ノ此ノ統制會社ノ件デゴザイマスルガ、是ハ尙ホ今後改メバナラヌト云フコトニハ、大體私共ノ考ヘヲ酌ンデ戴イテ居ルヤウデアリマスルガ、尙ホ進ンデ、例ヘバ木材業者ノヤウナモノニ運バセルト云フヤウナコトハ、尙ホ相當考慮ノ餘地ガアル、斯ウ云フ風ナ御考ヘノヤウデゴザイマシタガ、實ハ細カナコトヲ大臣ニ御話スルト云フコトハドウカト考ヘマスガ、木材輸送ノ實體ト云フモノヲ、ドウモオエライ方ハ御承知ニナラナイデ居ラレト云フヤウナコトヲ、當ニ我々業界デハ非常ニ遺憾ト致シテ居ルノデアリマス、木材ノ生産 詰リ森林カ

ラ搬出致シマシテ、ソレヲ自動車ニ依ツテ運搬致スノデアリマスルガ、非常ナ大企業、大森林ニナリマスルト、搬出ノ木材置場即チ我々ガ言フ土場ト云フモノガ相當ノ面積ヲ取ツテ居リマス、所ガ多クノ縣デハ實ハ小サナ森林ガ集マツテ大體ニナリマスノデ、隨テ此ノ木材ノ置場、所謂土場ト云フモノハ何レモ小サイノデアリマス、小サイニ木材ヲ出スノデ、輸送ノ方カラ見ルト餘リ溜マツテ居ナイ、後デモ宜イノデヤナイカト云フノデ、一日逃レニ自動車ノ方デハソレヲ見送ツテシマフコト云フ傾向ニナリマス、ナゼサウ云フ結果ニナルカト申シマスナラバ、木材ノ運搬ト云フコトハ非常ニ困難デ、自動車ノ運轉手、助手モ一番嫌フノデアリマス、一日僅ビ二見送リマスルカラシテ、其ノ結果ハ土場ガ器ガツテ、山カラ搬出ガ出來ナイト云フ支障ガ次々ニ起ツテ居リマス、斯様ナコトハ極メテ小サイ問題ノヤウデアリマスガ、何レノ箇所モ斯様ナ狀態デアリマスノデ、假ニ一日假ニ二送ルトスナラバ、生産ノ半年分シカ搬出ガ出來ナイト云フ結果ニナリマスノデ、此ノ運搬問題ハ實ニ容易デナイ問題デアリマス、然ラバ之ヲ個人ニ持タセルト、ドウシテサウ云フ運搬ビガ出來ルカト申シマスナラバ、木材專業ノ自動車ナラバ其ノ積ミ方ニ於テモ非常ニ技術的ニ進ンデ居リマス、サウシテ又當然是ハ自分等ノ責務デアルト云フノデ、モウ締メテ其ノ運搬ニ從事致シテ居リマス、隨テ能率モ勿論上リマス、又ソレヲ見送ツテ次ノ日ニ送ルト云フヤウナコトハアリマセヌ、他ノ容易ナ運搬ノミニ進ムト云フコトハ出來得ナイノデアリマシテ、是ハドウシテモ等閑ノ下才

自動車ガナケレバナラヌ、ソレニハヤ
ハリ自家用ヲ持タセナイナラバ實績ガ
上ラナイ、斯ウ云フ結果ニナリマス、
デ、此ノ點ハ一ツ點ト運輸大臣ノ御考
慮ヲ煩ハシタイ、私ハ切ニ此ノ點大臣
ノ御研究ヲ御願ヒシタイト存ズル次第
デアリマス

○平塚國務大臣 木材業者ガ自家用ヲ
持ツト云フコトハモウ宜イト決マツテ
居ルノデアリマス、唯配給ガ思フヤウ
ニナラヌノデアリマシテ、假ニ多少生
産シテ居ルモノヲ全國の二分ケマシテ
モ、極メテ僅カナモノデアリマス、デ
アリマスルカラ、今ノ場合ト致シマシ
テハ、ドウシテモ過去ニ於テ所謂其ノ
仕事ヲシテ居ツタ、實績ヲ持ツテ居ル
業者ガアルノデアリマスルカラ、此ノ
業者木材業者ト能ク速ニ保ツテ、
當分我慢シテ行カケレバナラヌト思
フノデアリマス、是ハ獨リ木材バカリ
デアリマセヌ、大體鐵マツタモノヲ生
産シテ居ル業者ハ、悉ク自家用自動車
ヲ要求シテ居ルノデアリマス、戰爭中
ソレ等ノモノガ全部統合體ニナツテシ
マツタノデアリマシテ、之ヲ解イテ自
家用ニバラノニスルト云フコトハ、
容易ナコトデハナイダラウト思フノデ
アリマス、併シ木材ノ輸送ノ爲ニハ、
業者ガ自家用ヲ持ツテ居ルト云フコト
ガ理想デアリ、又能率のデアリマス、
其ノ點ハ十分私モ了解シテ居リマスル
ガ、結局ハ生産ガモット確エナイ限リ
ニハ、中々ソコマデ手が伸ビナイ、其
ノ間ハ從來ノ業者ヲシテ運搬セシムル
ト云フコトニ、木材業者ノ方モ努力シ
テ戴キタイト思フノデアリマス、勿論
自家用ヲ殖ヤス方ガ一番能率のデアル
コトハ十分認識シテ居リマス、生産ガ
殖エマスレバ多少自家用ノ方ニモ過シ

タイト云フ考ヘハ持ツテ居リマス
○武蔵常委員 只今ノ運輸大臣ノ御
答辯デ私非常ニ意ヲ強ウ致シマシタ、
ヤハリ專屬のデアレバ、能率ノ五割増
ハドウデスカ、少クモ三割以上ノ能率
ヲ上ゲルト云フコトハ確信シテ居リマ
ス、然ルニ車ノ關係デ自家用ヲ持タセ
ルコトハ當分困難デアル、是ハ御尤モ
ナコトデアリマシテ、運輸省ガ現在ノ
統制會社ヲ解散サセルト云フコトデナ
ケレバ、ソレハ不可能デアラウト思ヒ
マス、私段々伺ヒマス、今度進駐軍
カラ一萬噸ノ「トラック」ガ拂下ナル
サウデアリマスガ、極メテ是ハ好機會
デアリマシテ、殊ニ木材ノ生産ガ十分
デナイ、特ニ運送ガ十分デナイ爲ニ後
レテ居ルト云フ一般ノ世評ノアル場合
ニ、之ヲ木材輸送ニ振向ケルト云フコ
トコソ機宜ノ處置デアラウト考ヘタノ
デアリマシテ、是非今度拂下ゲラレマ
ス自動車ノ全部トハ申上ゲラレマセヌ
ガ、大部分ヲ木材輸送ノ、而モ生産業
者ニ配車シテ戴キタイ、斯ウ云フコト
ヲ私此ノ際ニ特ニ大臣ニ御願ヒ致シテ
置キタイノデスカ、之ニ對スル大臣ノ
御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○平塚國務大臣 輸入ノコトヲ計畫シ
テ居リマスケレドモ、是ハマダ懇請中
デアリマスルノデ、内容ヲ申上ゲマス
ルト、折角圓滑ニ交渉シテ居ルノニ交
障ガアツテハイケマセヌノデ、斯ウ云
フコトハ過去ニ於テモ非常ニ禍ヒヲナ
シ、タノデアリマシテ、今日ハコ、運輸
入車ニ對シテハ答辯ヲ差控ヘタイト思
フテ居リマス、ドウゾ御承蒙願ヒマス
○武蔵常委員 只今進駐軍關係ノ拂
下ノ問題ハコ、デ御答辯ガ出來ナイト
言ハレル、是ハ極メテ御尤モナコトデ
アリマスノデ、私最後マデソレヲ御伺

ヒ致シタイトハ存ジマセヌ、併シナガ
ラ一番復興ニ支障ヲシテ居ル所ノ木材
輸送デアリマスノデ、サウ云フコトガ
アリマシタ場合ニハ、優先の二十分之
ニ對シマシテ御盡力ヲ御願ヒシテ已マ
ス、ナインデアリマス

次ニ生産條件ニ關スル點デゴザイ
マスガ、從來ノ生産上最モ支障ヲ來シ
マシタコトハ資材ノ配給ノ點デアリマ
ス、是ハ前ニモ委員カラ述べラレタノ
デアリマシテ、之ニ對スル大臣ノ答辯
モアリマシタカラ、私ハ重複スルノデ
差控ヘタイト考ヘマスルガ、唯一點、
從來木材ノ順位ガ低イ爲ニ、資材ノ配
給ガ十分デナイ、是ハ成程戰時中ニ於
テハ已ムヲ得ナカッタカモ分リマセヌ
ガ、今日一番ノ問題ハ戰災ノ復興デア
リマシテ、戰災ノ復興ノ重點ハ木材ニ
懸ツテ居ルノデアリマス、斯様ナ點カ
ラ考ヘテ見マシテ、木材ハ位置ヲ轉倒
シテ考ヘテ戴ケマセヌナラバ、ヤハリ
木材生産ニ非常ナ支障ヲ來スノデアナ
イカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマ
ス、ソレカラ尙ホ先般資材、食糧等ノ
配給ニ關シマシテ、ドナタカラシタ
カ御話ガ出マシタガ、一般民間ノ生産
ト營林局關係ノ生産デハ、資材ノ配給
ニ差ガアリハセヌカト云フヤウナコト
ガ事實問題ニナリマシタガ、今日ハイ
ザ知ラズ、戰時中ハ其ノ差ガ非常ニ多
カッタ、詰リ營林局方面ノ生産ニ對シ
テハ、物資、食糧、酒等ノ配給ガ相當
多量ニアツタガ、一般民間ニハ殆ド配
給ニナラナカッタ、斯ウ云フ風ナコト
ガアツタヤウニ記憶シテ居リマスガ、
過去ハ私ハ間ヒマセヌ、今後ハサウシ
タ區別ノ大イウニ特ニ御配慮ヲ願ヒ
タイ、此ノ機會ニ御願ヒシテ置ク次第
デアリマス

尙ホ最後ニ統制ニ對スル官吏ノ心解
ヘノコトデゴザイマス、之ヲ私ガ申上
ゲルコトハ或ハ失禮ノヤウニナルカモ
分リマセヌガ、此ノ機會ニ私ハ特ニ申
上ゲテ置キタイト存ズルノデアリマ
ス、是ハ官治統制ノ場合デモサウデア
リマシタガ、殊ニ民治統制ニ對スル場
合ハ最モ大切ナコトデアルト考ヘマ
ス、眞ニ必要ナル指導監督ハ、我々ハ
決シテ排斥スルモノデアアリマセヌ、
然ルニ從來ハ容喩スベカラザル場合
ニ、餘計ナ節介ヲシタリ、サウカト
思フト、必要ナル指導監督ヲ怠ラリス
ルコトニ依ツテ、非常ナ妨害ニナルコ
トガアルノデアリマス、從來ノ官治統
制等ノ實習ガアルコトデアリマス、カ
ラ、中々之ヲ改メルト云フコトハ、私
ハ容易デナイト考ヘマスルガ、十分更
僚ノ刷新ヲ圖ル必要ガアルト考ヘルノ
デアリマス、勿論サウ申シマシテモ、
新時代ニ副フベク百八十度ノ轉換ヲナ
シ得ル性格ノモノハ是ハ別デアル、唯
無暗ニ形式ニ流レテ、人事ノ異動ヲ行
ツテ、其ノ爲ニ實ハ總テ勝手ガ分ラナ
イト云フヤウナ爲ニ、其ノ中ニ研究研
究デ日ヲ送ツテ、緊急ナ用ニ應ズルコ
トガ出來ナイト云フヤウナコトデモ、
是レ亦非常ニ困ルノデアリマス、是等
ノ點カラ考ヘテ見マシテ、十分適材適
所主義ヲ遵德ナク發揮セラレンコトヲ
要望致シテ居ルノデアリマス、大臣ト
致シマシテハ是等ノ方面ニ對シマシテ
ハ、十分御考ヘニナツテ居ルト存
ジマスルガ、此ノ機會ニ御所見ヲ御伺
ヒシタイト存ズル次第デアリマス

○和田國務大臣 御答致シマス、木材
ガ基本的ナ物資デアリマシテ、鐵トカ
石炭ナンカト實際上ハ比肩シ得ル程ノ
重要ナ基本的ナ資材デアルト云フ認識

ハ、一般民間ノ人ハ私ハ餘リ淺ク考ヘ
テ居ナイノデヤナイカト思フノデアリ
マス、此ノ點ハ我々ノ生活上上カラ言
ツテモ、又經濟全體ノ上カラ言ツテ
モ、木材其ノ物ハ單リ消費材デハナ
クシテ、有力ナ生産材デアアルノデ、基
本ナ鐵石炭ニモ匹敵スベキモノダト
私自身ハ考ヘテ居ルノデアリマシテ、
是等ノ事柄ハヤハリ十分一般ノ人達ニ
モ此ノ認識ヲ強メル必要ガアルト思
ヒマス、ソコデ私ハ此ノ前トナタカノ御
質問ニ御答ヘ致シマシタヤウニ、ヤハ
リ木材ト云フモノハ國トシテ基本的ナ
資材ト云フ認識ノ上ニ立ツテ、木材生
産ノ爲ニ必要ナ色々ナ點ニ付テ諸方策
ヲ講ズベキデアリ、又今後ハサウ云フ
ヤウニ講ジテ行キタイト考ヘテ居ル次
第デアリマシテ、其ノ點ニ付テハ今後
トモ、私ト致シマシテハ出來ルダケノ
努力ヲ致シタイト思ヒマス

ソレカラ國有林ト民有林ニ對シマス
ル配給物資ノ不正ト云フコトデアリ
マスガ、是ハ事實上私餘リサウ云フコ
トハナカッタノデアハナイカト思ヒマ
ス、唯配給ノ經路ガ違ツテ居ツタヤウ
ナ關係モアリマシテ、片方ハスラノト
行キ、片方ハサウ行カナカッタト云フ
ヤウナコトガ、或ハアツタカモ知レマ
セヌガ、尙ホサウ云フ點ニ付キマシ
テハ、勿論サウ云フ疑惑ガ起リマセヌ
ヤウニ、サウ云フコトノナイヤウニ致
スコトハ當然デゴザイマス
ソレカラ官吏ノ心構ヘノ問題デアリ
マスガ、是ハ御話ノヤウニヤハリ官吏
ト致シマシテハ、國民ノ公僕デアルト
云フ信念ニ徹シマシテ、威武ニ屈セヌ
利益ニ流レズ公平ナル、且ツ十分公僕
タルコトヲ自覺シテ、ソシテ才能ノ限
リヲ盡シテ仕事ヲヤツテ行クヤウニ、

今後ハ官吏自ラモサウ云フ方面ニ努力ヲシ、又訓練ヲシテ行クベキダと思フノデアリマス、ソレト同時ニ私ハ望ムラクハ、民主的ナ社會ニナリマシテ自治的ナ統治ガ行ハレルヤウニナルノデアリマスカラ、其ノ際ニハ民間ノ者モ官尊民卑ト云フ日本人ノ頭ノ驕マデ溢ミ込メ居ルモノヲ拂拭致シマシテ、ヤハリ他人ノ良イ所ハ之ヲ尊重シ、人格ヲ尊重シ、又自ラモサウ云フ自治的ナ統治ヲ行ツテ行キマス上ニ於キマシテハ、謂ハバ公僕タルノ面モ十分アル譯デアリマスノデ、是等ノ點ニ付テ今マデ非難ガアリマシタヤウニ、民間ノ者ガ統制權ヲ握ルト官吏ヨリモ寧ろ惡カクダト云フヤウナ非難ノナイヤウニ、御互ヒニ努メテ行クベキダト考ヘテ居ル次第デアリマシテ、事實サウ云フヤウニナリマセヌナラバ、是ハ如何ニ組織ヲ民主的ニシマシテモ、實際上ノ民主主義ト云フモノハ、日本デハ行ハレナイト云フコトニナルノデアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテハ御話ノヤウニ、官吏トシマシテハ心構ヘニ付テモ、十分今後ハ努メテ參ル積リデアリマス

○武蔵(常)委員 只今農林大臣ノ資材配給ニ對スル今後ノ御方針ニ付テハ、私了承致シマシタ、尙ホ人事ノ問題ニ付キマシテ、官吏バカリ資メテ民間ガ事實統制ニ當ツタ場合ニ、積弊ナ、寧ろ反對ノ結果ヲ來スコトガアツテハ、カスト云フ御警告デゴザイマス、是ハ我々ト致シマシテモ當然十分考ヘネバナラヌシ、又是ハ政府ノ監督ニ關スル部面モ十分アラウト思ヒマスノデ、オ互ヒニ協調シ合ツテ、而モ最モ今後困難ナ部面ニ對シマシテハ、民主的ニ共共協力シテ進マネバナラスト在ズルノデアリマス、是ハ今後オ互ヒニ心スベキコトデアラウト思ヒマス、寧ろ我々ト致シマシテハ左様ニ考ヘテ居リマス

次ニ伺ヒタイノハ、先程森林組合ノ供木ニ對スル責任ノ問題ヲ申上ゲマシタガ、ソレト同時ニ森林組合ノ困難ナ仕事ノ一ツハ伐採跡地ノ植林ノ問題デアラウト思ヒマス、是ガ完遂出來マセヌナラバ、ヤハリ森林組合トシテモ其ノ職責ヲ果スコトガ出來ナイ、隨テ國家ノ要請ニ應ズル所ノ供木モ完遂出來ナイ、斯ウ云フコトニナルデアラウト思ヒマス、立木ノ供出ト最モ關係ノ深いノハ、何ト云ツテモ私ハ伐採跡地ノ植林ノ問題デアルト思フノデアリマス、隨分是ハ前ノ委員ニ依ツテモ述べラレテアリマスノデ、私ハ此ノ機會ニソレハ差控ヘタイト考ヘマスルガ、唯之ニ對シマシテ一點私ノ考ヘヲ申上ゲテ、ソシテ大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト存ズルノデアリマス、從來ノ植林ニ對スル所ノ考ヘ方ハ、所謂最近ニ於キマスル森林資源造成法案ニ依リマシテ、低率ノ補助ヲ事實致シテ居リマスガ、今日ノ如キ經濟狀態ニナリマシテハ、最早アノ方法モ極メテ面倒デアル、而シテ今日ノ狀態カラ申シマシタナラバ、アレヲ利用スル人ガ果シテ何人アルカト云フコトデアリマス、是ハ相當額ヲ上セルバカリデナク、方法等モ考ヘナイナラバ、實際利用者ガ少イヤウナ結果ニナリハシナイカ、利用者ノ少イ結果ハヤハリ此ノ植林ガ十分ニ行カナカツト云フコトニナリハシナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、是ヨリモモット考ヘネバナラストハ、植林ニ對スル一般ノ認識デアリマス、即チ過去ハ山林所有者ニ重點ヲ置イタノデアリマスルガ、其ノ考ヘ方ハ最早根本

的ニ改メネバナラス、團チ植林ハ總テ國家ノ爲メ植林デアルト云フ考ヘ方デアリマス、此ノ觀念復舊ノ爲メ木材ハ莫大ナル量ヲ要スルコトハ明カデアリマス、之ヲ植林家、即チ山林所有者ニ任セルト云フヤウナコトデアッタナラバ、其ノ結果來タルモノハ早魃デアル、或ハ洪水デアル、是ガ交ミ參リマシテ耕地ヲ失ヒ、其ノ結果ハ國民ヲ饑饉ニ陥ラシムルト云フコトハ口ヲ擲ヘテ謂ハレテ居ル所デアリマス、此ノ點カラ考ヘテ耕地ノ爲メ植林デアル、取リモ直サズ是ハ國家百年ノ仕事デアルト云フコトヲ深く認識シナクレバナラスト考ヘルノデアリマス、從來ノヤウニ植林ニ多額ノ補助ヲシテ、一定ノ面積ト一定ノ豫算トヲ計上シテ其ノ目的ヲ達シヨウト云フヤウナコトデハ、眞ノ植林計畫ハ所謂盤餅ニ終ツテシマフノデハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、寧ろ認識ヲ改メテ、一歩進ンデ政府ガ此ノ植林ヲ行フ、御承知ノヤウニ農地法ニ依ツテ耕地ヲ分配スルト云フコトト森林ノ分配ト云フコトハ、全ク意義ガ違フノデアリマセウ、併シテガラ世ノ中ニハ森林ノ分配ト云フコトヲ口ニスル者ガナイデモアリマセウ、サウ云フ關係上、森林ノ所有者ハ果シテ自分ガ植林シテ、此ノ植林ガ自分ノ爲メナルカドウカト云フヤウナコトヲ考ヘル時ニ、今日ノヤウナ困難ノ狀態ニ於テ植林スルノデハ、寧ろ植林シナイ方ガ宜シイ、斯ウ云フヤウナ狀態ニナツテ、植林ハ遂ニ捨テラレルノデハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、斯様ニ考ヘマス、植林ノ前途ハ確カニ私ハ暗澹タルモノガアルデナイカ、寧ろ國家ガ國家ノ手ニ依ツテ植林ヲ致シマシテ、其ノ管理ハ山林ノ所有者ガ行フ、ソシテ成育シテ、將來其ノ山林ヲ處分スル場合ニ、其ノ經費ヲ差引クト云フヤウナ形デアリナイナラバ、政府ハ大分立派ナ植林ノ計畫ヲ立テテ居リマスガ、私ハアノ何分ノ一シカ出來ナイノデアリマス、是等ニ關シマシテ植林ニ對スル大臣ノ考ヘヲ伺ヒタイト在ズルノデアリマス

○和田國務大臣 御意見ハ私非常ニ御尤モナ所ガアルト思ヒマス、殊ニ森林ヲ失ヒマシテ今日、私的ノ所有、其ノ跡ノ利用ト森林其モノガ持つテ居リマスル國家のナ公ナ形ト言ヒスカ、サウ云フモノトノ關係ナ、デアリマシテ、ソレヲ造林ト云フ形ト、唯私的ノ所有者ノ自由ニソコヲ任セズニ、個人トシテハ中出來ニクイ所ヲ國家ガ出テ行ツテ、國全體ノ資源ヲ造成スル、斯ウ云フ意味デアリマス、斯ウ云フ御話デアリマシテ、私非常ニ御尤モナ所ガアルト思ヒマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、我々ノ方モ此ノ戰爭中激伐サレタ土地、或ハ今後木材ノ大キナ需要ニ從ツテ伐ツテ行キマス跡地ノ造林ニ付テハ、ドウシテモ之ヲ全部蘇地化サレナケレバナラス、是ハ國土ノ保安ノ上カラ申シテモ、全ク御話ノヤウニ憂フベキ事象ガ出テ來ルノデアリマシテ、御意見ノ點ハ十分考ヘマシテ、適當ニ研究シテ參リタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○武蔵(常)委員 マダ色々伺ヒタイコトモアリマスガ、私ノ質問ハ是デ一應打切りマス

○森委員長 本日ハ此ノ程度ニ致シマシテ、次回ハ明日午前十時ヨリ開會致スコトニ致シマス、本日ハ是デ散會致シマス

午後零時十七分散會